

Nice to meet you!

ナイス中ミ〜中

市内の中学生がPR



南中スローガン **We make 南中 & I make 南中**
 凡事徹底A(挨拶) B(Before 5 minutes) C(Clean)

南千里中学校

**時代とともにアップデート!
 自分たちの手で愛される南中に**

全校生徒は380人。登校すると10分間の朝読書から1日が始まります。生徒は、いろんな教科の授業で、自分の意見を発信したり、議論したり、プレゼンテーションを行ったり。みんなが安心して自分の考えを伝え合える環境です。時にはそれを英語で行うことも。生徒一人ひとりが主体的に取り組んでいます。

また生徒会では、「今までのあたりまえ」の見直しとして、各種委員会の男女枠の撤廃を提案し、全校生徒による投票を経て、賛成多数で校則改正が可決されました。これからも南中の伝統を守っていきながら、時代とともにアップデートして、生徒からも地域からも愛される南中を、生徒たちで作っていきます。



令和6年度後期 生徒会執行部メンバー



南千里中学校
ホームページ

みんなとTeamsで作業をするときに大切なことを授業で学びました！

Teamsを使ってみんなで作業するシーンを想定し、安全に扱ったり、リスクや課題を解決したりするために必要なことを学びました。

1 そもそもクラウドの仕組みって？

便利なのはなんでだろう？



このクラスでは、ふだんから係活動などにもTeamsを利用して共同編集に取り組んでいます。クラウド上にあるからこそ、データを共同で編集できることを学びます。

2 使っていて困ったことはある？



自分たちが今、困っていることを出し合い、クラスの課題を把握します。

見られたらダメなデータを見られてしまったり、データを変えられてしまったり…。

3 使うときの心構えを学ぼう



問題や困りごとを解決する3ステップ

動画での事例を見て、困りごとを解決するときに大切な考え方を学びます。

困ったときも焦りは禁物！適切に対処するための心構えを学んだよ

4 実際の機能も学びながら対策を考えよう



事例での学びをもとに、自分たちのトラブルについて解決策を考えます。

必要によって、特定の人しか編集したり見たりできないように、制限をかけるっていいんだね！

授業の様子を クローズアップ！

デジタル社会を 生き抜くための 学びが進んでいます

令和3年度から、1人1台の学習用端末(デジタル端末)を手に学び始めた吹田の子供たち。学校や家庭でデジタルツールの活用が日常化し子供たちの世界が広がる一方、困りごとや思わぬトラブルに見舞われることもあります。市では、子供たちがデジタルツールと上手に付き合える「善き使い手」になれるよう、デジタル・シティズンシップ教育に注力。

昨年、市内の小学5年生を対象に行った授業を基に紹介します。



あす 未来に向かって

吹田の教育のいま

No.14

問教育総務室(朝日町) 6155・8063
 FAX 6155・8077

ファイル共有やチャット、ビデオ通話などの機能を備えたクラウド※サービス「Microsoft Teams」。ビジネスなどで日常的に活用されていますが、市内の小中学校の中でも、授業の宿題、係活動などで活用しています。

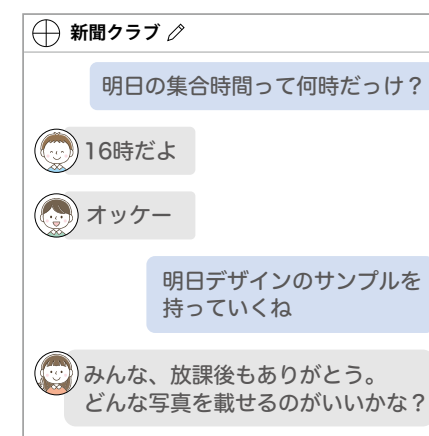
※インターネット上にある仮想のコンピュータのこと、ユーザーにコンピュータのさまざまなサービスをネットワークを通じて提供することをいう



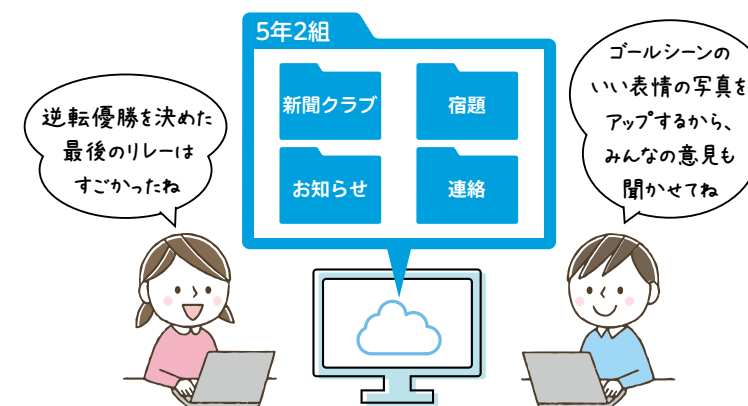
係活動でのTeams活用シーン(一例)

運動会の様子を学級新聞にまとめる
 新聞クラブの活動を例に紹介します。

グループチャットを連絡ツールに



フォルダに写真や原稿を保存し
 みんなで共有したり編集したり



自宅でも作業ができたり、ほかのメンバーの作業の状況が分かったり、便利なTeams。一方で、保存するフォルダを間違えると、外部に情報が漏れてしまうなどのリスクもあり、上手に使いこなすための教育も必要です。